

# UDS JOURNAL

VOL.2



[www.uds-net.co.jp](http://www.uds-net.co.jp)



Hotel  
and  
Community

特集「まち×ホテル」

UDS JOURNAL  
VOL.2

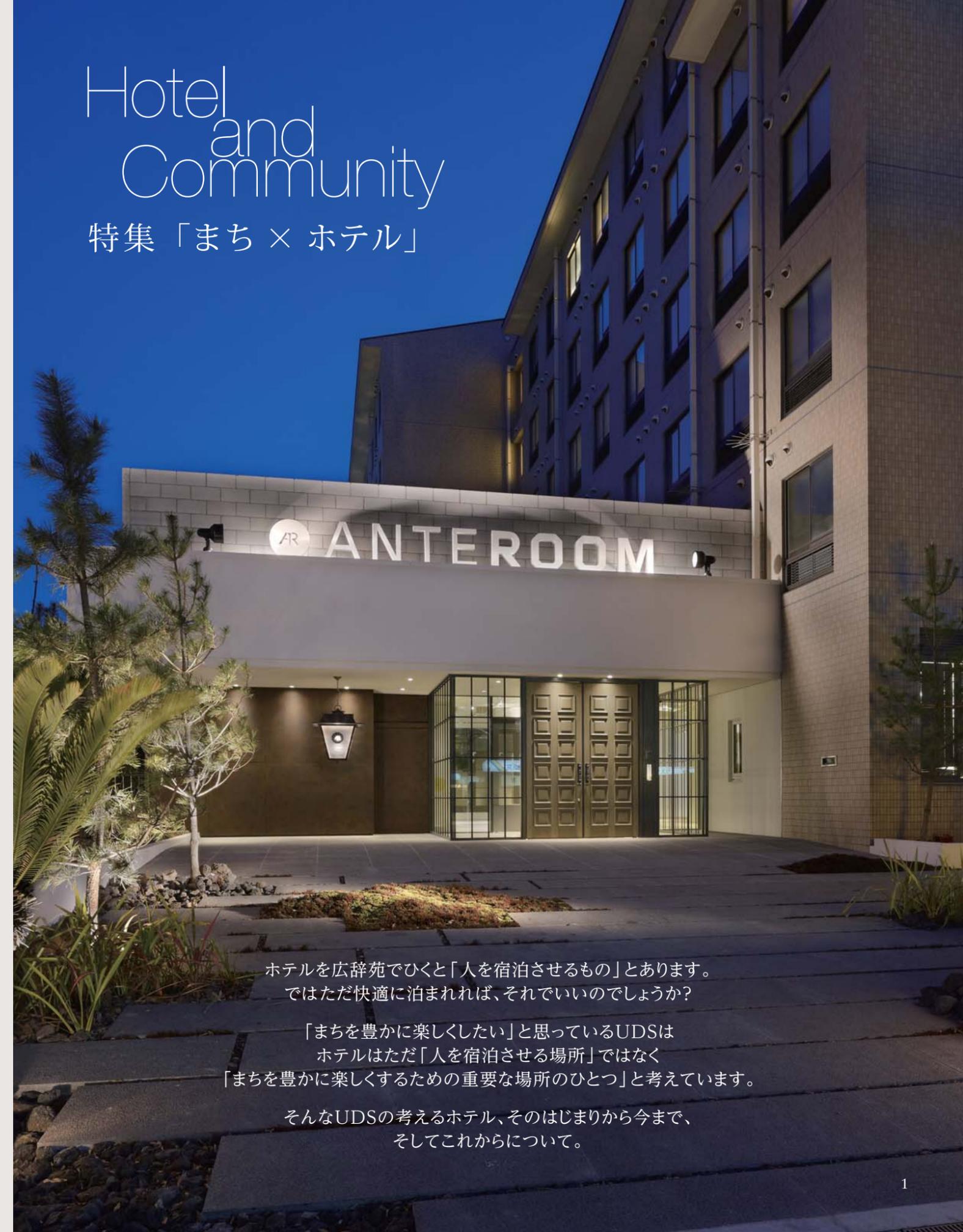
Contents

01-07	Hotel and Community	「まち × ホテル」 - UDS代表取締役会長 梶原文生
08-09	Staff Interview	UDSホテルの“らしさ”
10-13	Hotel Project	ホテル カンラ 京都 / ホテル アンテルーム 京都
14	From China	Hello from 誉都思
15	UDS News	Inside UDS
16-17	Staff Voice	Message from UDS Acters

発行：UDS株式会社  
東京都渋谷区代々木1-27-16 JECビル4F  
TEL：03-3372-0231  
info@uds-net.co.jp

# Hotel and Community

特集「まち × ホテル」



ホテルを広辞苑でひくと「人を宿泊させるもの」とあります。  
ではただ快適に泊まれば、それでいいのでしょうか？

「まちを豊かに楽しくしたい」と思っているUDSは  
ホテルはただ「人を宿泊させる場所」ではなく  
「まちを豊かに楽しくするための重要な場所のひとつ」と考えています。

そんなUDSの考えるホテル、そのはじまりから今まで、  
そしてこれからについて。



1. まっすぐな四角いビルだったら決めていなかったかもしれない、という”プロポーションのいい”(by 梶原)建物デザイン。運営を密にみていたので、当時は屋上の機械室を事務所に改装して常駐していました。
2. 部屋ごとに間取りが異なる客室。この客室提案と実績が次のカンラにも生きてきます。
3. 現状復帰不要で入居者が自由にデザインできる仕組みのレジデンシャルフロア。

## まちの良さを発信

CLASKAの後、いろいろな荒波を経て2010年にオープンしたのが、「ホテル カンラ 京都」でした。

「物件の目の前は幅3メートルの狭い道路で、向かいには普通の民家、エントランスは半地下で天井も低い。と、この場所も一般的に考えればホテルにはとても厳しい条件が揃っていました。また、元は教育施設だった建物の構造上、どうしても細長い客室になるという、間口と奥行きの関係にかなり悩まされました。ただその細長い形を逆手にとって、奥に畳の小上がりを設えて多人数泊まれる仕様にしたなら、と考え出したところからグンと進みました。このプランにより、2人でゆっくり宿泊したいゲストも、友人同士や家族5人までのゲストも両方受け入れることができるようになり、事業化にこぎつけました。また、最大1室5名まで泊まれることとホテル全体の規模感が修学旅行での利用にもマッチし、修学旅行生に京都の文化を感じてもらう場にもなりました。」



UDS株式会社 代表取締役会長  
梶原 文生 (かじわら ふみお)

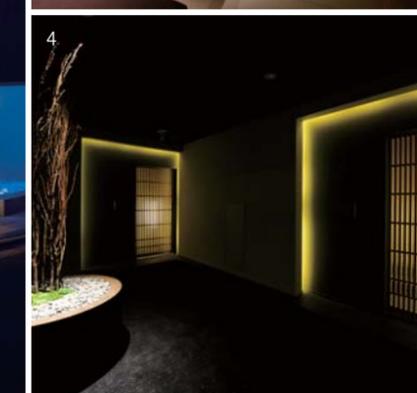
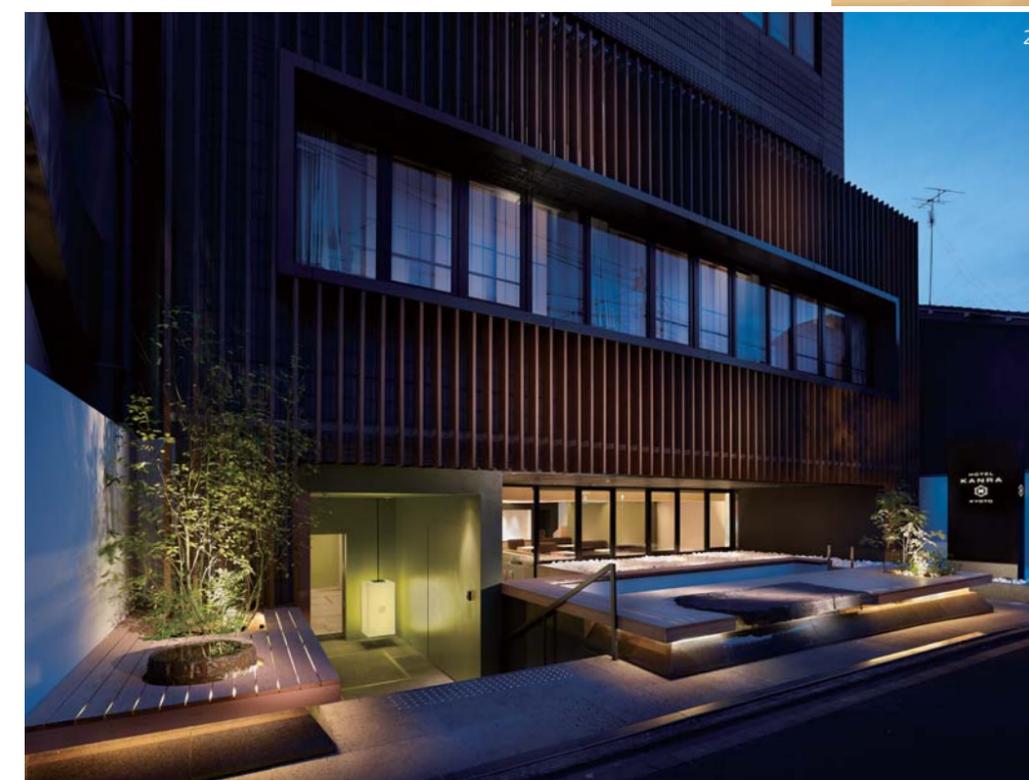
1965年東京生まれ。  
東北大学工学部建築学科卒。  
1992年株式会社都市デザインシステム(現UDS株式会社)を設立しコーポラティブハウス事業を開始。現在は中国・上海に拠点を移し嘗都思建築咨询(北京)有限公司董事長も兼任。  
立命館大学大学院 客員教授。

## UDS×ホテルのはじまり

2003年、目黒通り沿い、JR目黒駅からバスで2キロほどの場所にある老朽化したホテルをリノベーションし、オープンした「CLASKA」。これがUDSとホテルのはじまりでした。

「創業当初からまちづくりの場所として『ホテル』を手がけたいと考えていました。コーポラティブハウスを10年ほどやって次の展開としてホテルを考えながら、足を使って色々なところを見てホテルの場所を探していた時に出会ったのがCLASKAの建物でした。最初に見た瞬間に『ここだ』と思いました。

それまで色々な場所をみて、事業収支を組んできた中で、高い家賃でカッコいいビルにすると私たちの事業としては成り立たない、おもしろいものがつくれなくなる、と感じていました。  
決して便利とはいえない場所でしたが、目黒通りに面した見通しのいいオープンな感じ、さらに3階まで廻りが大きくて、その上はちょっとほっそりしてすっと立っていて、ビルとしてのプロポーションがよかった。そして近隣には個性的なインテリアショップが並び、クリエイターたちが住んでいる。事業収支をはじき出し、すぐに決めました。」



1. 自分達で運営までしてよく見ていくことで、設計事務所とはちがうノウハウがつく、という考えもUDSが運営をはじめた理由の一つ。
2. “築年数経っているけれどきちんとした建築で躯体のボリューム感がよいな、というのが最初の印象だった”(梶原)という建物。

3. 京都の伝統的な住宅形式「京町家」にイメージを重ねた、細長い客室。元は複数の教室からなるフロア構成で窓のある場所が限られていること、ホテルの客室には窓が必ずなくてはいけないこと、これらの条件を逆手に取った結果生まれたのが、この細長い「マチヤスタイル」の客室デザインでした。

## まちに新しい魅力を

そして翌2011年、京都の東九条に「ホテル アンテルーム 京都」がオープンしました。

「観光スポットから外れた、京都駅の南側、比較的人の少ないエリアの学生寮でまだ建物の3分の1には寮生が住んでいました。相談をくださった方も『無理だね、ここじゃ』とってしまうような物件でした。当時周辺は活気があるとは言い難い状況で、もちろんホテルなど一つもありませんでしたが、駅にも近く近隣には幾つかの大きな企業もありました。だったらホテルがあれば観光客にもビジネスの利用客にもいいのではないかと、いうところから、プロジェクトがスタートしました。

カンラが地域の環境を吸収してデザインを表現したのに対して、アンテルームはこの場所から何かを発信することで地域に魅力付けをしようと考えました。京都は昔からアート・工芸に関連する人が多く住み、芸術大学も多い場所。そこで『アートのかで地域を活性化しよう』とコンセプトを据え、ホテルとシェアハウスが同居するアートホテルにコンバージョンしました。シェアハウスが入っているのは暮らしのなかにもアートを取り入れたいというニーズが必ずあると考えたからです。」



1. アンテルームは「次の間」や「待合室」の意味。京都の街へ出るための支度をする場、また新しい刺激を通じて次の出会いへとつながる場にとの想いを込めた名前です。
2. エントランスを入ってすぐに広がるGALLERY9.5。これまで5年間で45回に及ぶ展示会、イベントを開催しアートをハブに様々な人が集う場に。
3. コンパクトながらも抜群の居心地で、リピーターも多いシングルルーム。
4. 開放的なデッキテラス付きのツインルームも。
5. 独特の心地のよい空気と時間が流れる共用部。





## UDSにとってのホテル

「ホテルがまちにとって重要な場所だと思うようになったのは、学生時代にイタリアやスペインを旅したときに、ホテルにあるバルやバルがまちの人たちのコミュニティになっていて、朝も夜も人が集まっている場を見たことがきっかけです。まちの人が集まる、まちのコミュニティがそこにはありました。旅行者である自分も訪れることで地域の生活を体験できる。そんな、まちに溶け込んでいる場がとても印象的でした。」

当時、日本のホテルは、海外からブランドごと「ぼん」と持ち込まれて落とされているような形が多く、欧米文化のサービスに日本のデザインが中途半端に入っているような違和感を感じていました。そんな中、日本のサービスと日本のデザインを取り入れた、日本の宿泊のあり方があるのでは、日本のまちの良さを、文化を発信する宿泊施設がもっとあるべきでは、と考えるようになりました。それをできるところから少しづつ形にしてきて今に至ります。

おかげさまで様々なホテルの企画や設計のお仕事をいただき、今では京都、東京、横浜、川崎でホテル、ホステルを計7店舗運営させていただいています。」

上から  
ホテル エディット 横濱  
オンザマークス 川崎  
BUNKA HOSTEL TOKYO  
GRIDS 秋葉原  
GRIDS 日本橋イースト



## まちの魅力を発信する、新しいホテルを

「これから沖縄や中国など新たな場所で展開を予定していますが、まちの魅力を引き出し、伝えていく仕組みをホテルに入れていきたい、という想いは今でも常に中心にあります。」

2016年10月に増床リニューアルしたホテル カンラ 京都では、京都で長く受け継がれてきた伝統の技を随所に落とし込みさらに京を感じていただける空間に革新しました。新設したショップでは京都を中心とした工芸品などを販売しながら、金継ぎの職人技を間近で触れることができる場所を展開しています。2018年に開業予定の沖縄のホテルでも、沖縄の、世界に誇れる素晴らしいクオリティの工芸をどう取り入れて発信していくかに取り組んでいきます。

こういった視点を入れながら、人が集まる魅力的な場所を作り上げるためには、外部の人たちとのいいコラボレーションが欠かせません。インテリア、ロゴ、サイン、家具。一流の人たちとのコラボレーションにより、よりクリエイティブで新しいものを作り出し、新たな選択肢として世の中に問いかける。これがUDSが目指してきた立ち位置であり、ここにもコーポラティブハウス事業で培った“コーディネート力”が生きています。クリエイターであると同時にコーディネイターである。その姿勢もUDSでは大切にしています。

現在、私が統括している中国首都圏でもMUJIとのコラボレーションによる新たな展開のホテルプロジェクトが進行中です。これから、日本にとどまらず世界で、まちと密に連携しながら、そしてさまざまな方とコラボレーションしながらまちの魅力を発信する、新しいホテルをつくってしていきたいと思っています。」

(UDS代表取締役会長 梶原文生)



## UDS HOTELS&HOSTELS

hotel kanra kyoto  
ホテル カンラ 京都  
京都府京都市下京区烏丸通六条下る 北町190  
TEL 075-344-3815

AR HOTEL ANTEROOM KYOTO  
ホテル アンテルーム 京都  
京都府京都市南区東九条明田町7  
TEL 075-681-5656

[E] HOTEL EDIT TOKOHANA  
ホテル エディット 横濱  
神奈川県横浜市 中区住吉町6丁目78-1  
TEL : 045-680-0238

ON THE MARKS RES. FOOD AND MUSIC  
オンザマークス 川崎  
神奈川県川崎市 川崎区小川町17-1  
TEL : 044-221-2250

BUNKA HOSTEL TOKYO  
BUNKA HOSTEL TOKYO  
東京都台東区浅草1丁目13-5  
TEL : 03-5806-3444

GRIDS 秋葉原  
東京都千代田区東神田2丁目8-16  
TEL : 03-5822-6236

GRIDS 日本橋イースト  
東京都中央区日本橋久松町4-7  
TEL : 03-6667-6236

# Staff Interview

## UDSホテルの“らしさ”

UDSのホテルについて、  
企画、設計、運営の3つの視点から話を聞きました。

ー さて早速ですが、ホテルにおけるUDSらしさってどんなところでしょうか？

中原：企画、設計、運営が一体で動いていて、その連携があるから、きちんと議論してものを決めることができる場所ですね。例えば2016年10月にリニューアルしたホテル カンラ 京都 (以下カンラ) ではフロントでのチェックインをお客様が座ってするのか、立ってするのか、それを決めるのに2時間議論しましたからね(笑)。

森本：しましたね、2時間(笑)。一般的にホテルはオーナーが設計会社、運営会社それぞれの会社を決めて契約を結ぶので、企画や設計と運営は分断されていて、運営は上から下りてくるものをやる、という形になります。でもUDSでは設計と一緒に色々話しながら決めていける。お客様のことを考えながら、こういう風にしたいとお互い議論することができます。

中原：今回のカンラリニューアルでもウォークインワインセラーを入れたい、荷物台をつくりたい、など、運営側の希望が色々出てくるので、それを受けて、様々な調整を図って予算を捻出しました。運営側の希望、設計側の希望がありますから、お互い譲れる部分、譲れない部分を密に調整を図りながら実際の設計を進めています。

森本：正直、デザイン的な要素を取り入れると運営は大変なんですよ(笑)。例えばホテルの客室は同じところに同じものがあるほうが清掃は簡単ですから

ね。でもUDSはホテル専門の会社じゃないので、既存概念にとらわれないプランが出てくるんですね。雰囲気重視の照明プランとか。でもそれを見てきて、運営側の工夫や柔軟さがあればもっと楽しいことができる、もっといいホテルができる、と思うようになりました。

中原：企画や設計側からの意見、運営側の意見、それぞれを交わし合いながら、一番いい形を探していく。私たちUDSはこういうことを積み重ねてホテルをつくっていて、これがやっぱりUDSならではの大きな特長で強みだと思います。

高橋：他の人が手を出さない場所を魅力的に見ることができる、というのもUDSらしいところのひとつですよ。1丁目1番地みたいなところに出すのではなくて。

中原：そうだね。例えばホテル アンテルーム 京都なんかはまさに、マーケットがないところにマーケットをつくることをしたくて、それが今形になっているし。オンザマークスもなかなかの立地だしね。

高橋：オンザマークスといえば、入り口のエントランスにフルオープンサッシ入れたの、オープン1ヶ月前でしたよね。(笑)。

中原：そうそう、予算的に厳しかったので一度は諦めたものの、レストランの



企画：高橋佑策  
プロジェクトデザイン事業部 執行役員

UDSに入社したきっかけ  
前職では企画設計で実際に図面を引いていたが、事業をつくる方をやりたくて、そんな時にUDSを紹介をされて。  
好きなホテル：prinz



設計：中原典人  
COMPATH事業部 執行役員

UDSに入社したきっかけ  
直接エンドユーザーと話しながらよりリアルに設計がしたいと思っていた時にUDSを知り、なんだか面白いことをやっているところに惹かれて。  
好きなホテル：マンダリン オリエンタル パルセロナ



運営：森本和夫  
ホテルマネジメント部事業部 執行役員

UDSに入社したきっかけ  
次の時代のホテルにはデザインの力が絶対必要だと思っていた時に、UDSを紹介されここなら新しい形のホテルがくれると思い入社。  
好きなホテル：庭のホテル、リズベリオ赤坂

吸引力を上げるためにどうしてもいれなくて、結果的に別途施主にプレゼンをして予算をとりました。結果的にそれですごく開かれたホテルの「顔」ができた。エントランス入って正面にBED, FOOD AND MUSICってネオンも入れたい、って言いたしたのも直前でした(笑)。

高橋：はい。やっぱりどうしてもいれなくて、直前に看板屋さん探して(笑)。

中原：そういうコミュニケーションを取り合えるのもUDSならではのかなと。普通のデザイナーさんに竣工一ヶ月前にそんなこといっても取り合ってもらえない。「欲しくないですか?」「やっちゃおうか?」「今しかないしね」っていう、いい部分での「ノリ」。もちろん予算や工期やコンテンツはきちんと守りつつやらなければいけないので、そこが至難の技なんです。

高橋：普通はそんなことをそんなタイミングで言ったら怒られる。というか、できないですからね。

中原：これは会社の空気感、スタンスみたいなものもありますが、コーポラティブハウスをやっていたことがすごく大きいと思うんです。コーポラティブハウスは関係者間の合意形成と、多種にわたる金額調整がとても重要なんです。それをやっていたから、多岐にわたるものの金額が頭に入っているんで、なんとなくのコストがすぐに弾き出せるんですね。なので新しい相談が来た時に、「がらがら」とまた混ぜ直して「ぼん」と形にすることができるんです。その「がらがらぼん」も企画、設計、運営で直に相談・調整できるからスピードが早い。

ー なるほど。ではホテルのプロジェクトで大切にしているところはどんなところですか？

高橋：大きな粘土の塊から企画を作っていく中で、「地域性」はすごく意識しています。コンセプトが「ビジネス利用者向けのホテル」だとしても、そういった方も仕事して寝て帰るだけではなくて、その地域らしさを感じられるようなポイントがあったらいいはずで。そういう視点をいつも持つようになっています。

森本：そうですね。ホテルは非日常、家にはないものを体験できる場所で、ただ泊まるだけじゃなくて楽しんでもらうところだと思うんです。そのためには新しい発見だったり刺激が必要で、意識してそれを入れていきたいと思っています。

中原：設計については、ホテルに限らずですが、ベンチマークがずれると出来上がりがずれてしまうので、最初の段階で同じものを見て目標を合わせることをとても大切にしています。今の時代いろんなところから写真を集めることはできます。でもそこには音も香りもないので、実際の「空気」を感じることはできなくてクライアントさんやプロジェクトメンバーで、本当の意味での共有をすることはできません。ですから、最初にベンチマークとしたいものを実際に一緒に見に行く、ということを大切にしていますね。

ー ホテルに関してこれからどんなことをやりたいと思っていますか？個人的な夢でもいいですが。

高橋：欧米はホテルのレストランが日常に溶け込んでいます。でも日本のホテルは閉鎖的な感じがあって日本人はホテルのレストランに食事に行くのに身構えるところがあると思うんです。それを身近な、日常的なものにできるいいなと思っています。

森本：私もホテルがまちづくりの中心、そういう場になれると思っているので、地方でシティホテルをやりたいですね。長く婚禮の仕事をしていて、やっぱり婚禮が好きなので、個人的には新しい婚禮をつくっていけたらともっています。

中原：私は最近、どうだ！これがリゾートだ！っていうシンプルなりゾートをすごくやりたいと思っています。まずはこれから沖縄がありますし、そのあとも世界の国にリゾートつくっていかたいいなあと夢描いてます。

ー ホテルは誰にでも開かれたオープンな場所で、誰でも立ち寄ってもらえるのが魅力で携わっていて嬉しい部分、という言葉もありました。宿泊はもちろんですが、どうぞお気軽にお立ち寄りください。企画者、設計者、そして運営スタッフ一同お待ちしております。



# Hotel Project

2016年に増床リニューアルした  
ホテルカンラ 京都とホテルアンテルーム 京都をご紹介します。



hotel  
kanra  
kyoto

ホテル カンラ 京都

## 継承と革新

隣接する教育施設棟をホテルへコンバージョンした今回の増床リニューアルでは、「継承と革新」をデザインコンセプトに、「マチヤスタイル」の細長い客室などは継承しながら、和の要素や伝統技術を取り入れ革新させることを目指しました。木、石、鉄、緑、土など人間の心に本質的に響く自然の根源的な素材をアレンジして空間に取り入れながら、京焼や西陣織、京唐紙など京都で培われてきた、「本物」の素材を繊細に美しく変化させる「技術と技法」を落とし込むことで、より京文化を感じ、普遍的に心に響く空間をつくりあげました。

既存の吹き抜けを利用した大暖簾と「なぐり加工」の外構で印象付けを図ったエントランスにはホテル、カフェ&ショップ、地下1階ダイニングへの3つの入り口を設け、地域に開いた入り口に。フロントは広々としたカウンターに座ってチェックインできるソファスタイルとし、フロントバックには、1枚1枚職人が手づくりした清水焼のタイルを貼り、空間に余白を持ちながら、安らぎのあるグレード感を演出しました。

1階には職人の技を間近で見られる金継ぎ工房を併設したショップとカフェを展開し、京文化をより感じることができる「新たなカンラ（感×洛）」への進化に取り組みました。



所在地：京都市下京区烏丸通六条下る北町190  
構造：RC造一部SRC造  
敷地面積：1,947.81㎡  
延床面積：9,748.07㎡  
リニューアルオープン：2016年10月17日  
<http://www.hotelkanra.jp/>

Project Member



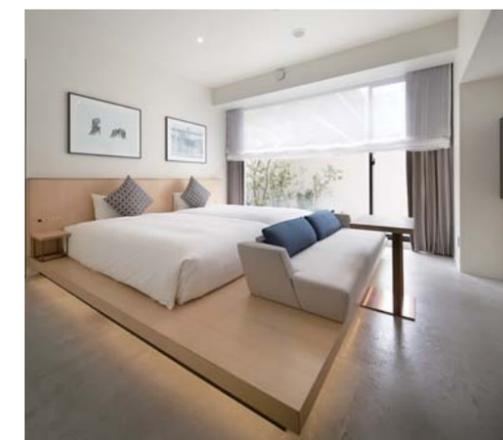
中原典人 黒田哲二 小林綾子 友口理央



湯川ちひろ 中山幸恵 小山美佐樹



HOTEL  
ANTEROOM  
KYOTO



ホテル アンテルーム 京都

# 常に変化する京都の アート&カルチャーの今

5年前に学生寮を一部残し、ホテル・アパートメントとしてコンバージョンしたホテルアンテルーム 京都。

今回は、学生寮の部分をホテルとしてコンバージョンし、新たに客室68室を増床しました。

「アート&カルチャー」のコンセプトを継承しながら、日本にあるホテルとして新たに「和」の要素を付加。客室は、心地よい和モダンを意識し、特徴のある庭付きの客室や、アーティストとコラボレーションしたコンセプトルームを設置し、それぞれの空間に和の様式やマテリアルを用いました。また、アート部分の強化を目的に、「365日アートフェア」というコンセプトを掲げ、約70組のアーティストによる 200点以上の購入可能な作品を、客室や廊下その他共用部などに展示し、ホテル全体がギャラリーとなる新しい取り組みを仕掛けました。

特に、アーティストが独自の世界観で客室全体を表現したコンセプトルームでは、名和晃平氏、蜷川実花氏など、アーティストとともにアートと共生する客室を目指し、特徴のある客室を作り上げました。また、ショップや中庭もリニューアルし、共用部にはアートが制作される現場を体験することでよりアートを身近に感じてもらえるよう、アーティストが滞在をしながら作品制作をするアトリエを新設しました。

所在地：京都府京都市南区東九条明田町7

構造：鉄筋コンクリート造

敷地面積：3055.07㎡

延床面積：6066.44㎡

リニューアルオープン：2016年7月22日

Project Member

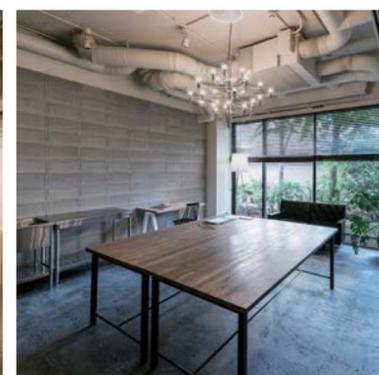


中原典人

朽尾直也

小山美佐樹

上田聖子



# Hello from 誉都思

UDSでは、まちづくりやホテルでの実績を生かし、2006年より中国で事業を行っています。

2011年には創業者であり、代表取締役会長の梶原文生が家族で中国・上海に移住。

2013年に現地法人誉都思を設立し、日本同様のモデルで、企画・設計・運営の事業を展開しています。

## 北京 Beijing



松尾 麗

Urara Matsuo

2013年、新卒入社。誉都思建築部で店舗・オフィス・結婚式場や子供職業体験施設などの企画及びコーディネーターを経て、今年3月より運営部に移籍し現在は飲食及びホテルの企画・コンサルを担当しています。大学から中国に渡り、設計とアートマネジメントを学び、UDSのつながりを生み出す“場”を作り出すという考え方が、これからの中国でも重要になると考え入社。日本と中国を知る者として、国境や国籍を越えておもしろく、意義のあることを生み出す“仕掛け人”を目指し、日々奮闘しています。



2011年に8人で始まった誉都思北京は今年で総勢22人になりました。中国人15名、日本人5名、香港人1名、台湾人1名で、中国語を母国語とするメンバーが圧倒的に多いため、公用語は中国語で、日本人メンバーも中国人メンバーと流暢な中国語でやりとりしています。

## Project

### MUJI HOTEL 北京



北京の天安門広場前門南側、北京市の新たな文化発信シンボル(北京文化新地標)となる「北京坊」に「MUJI HOTEL 北京」が建設されます。地上4階建の建物をコンバージョンし、約4000㎡の空間に、全41室の客室とレストランやギャラリーなどを配した、MUJIの世界観を滞在しながら体験できるホテル計画を進めています。本プロジェクトは、UDSと誉都思が共同で企画・内装設計・運営を行う初案件で、現在2017年のオープンを目指して一丸となって、質の高い空間デザインとサービスを提供すべく取り組んでいます。

## 上海 Shanghai



山田善紀

Yoshinori Yamada

2016年入社。上海の設計事務所で4年ほど商業施設等の複合開発やクリエイティブオフィスの設計を担当後、設計だけの視点でプロジェクトに関わる事のもどかしさを感じ、企画・設計・運営を行っている誉都思に入社しました。現在は長春の商業オフィス、ホテル、カレーレストランの内装設計を担当しています。企画や運営とチームで様々な視点からプロジェクトに関わりながら充実した日々を過ごしています。今後もアジア、世界を舞台に多くの人に愛されるプロジェクトを作っていけるよう頑張っています。



上海オフィスは9月に学生の多い交通大学から、住宅街の江苏路付近に引っ越しました。住宅が多く集まるエリアの中、アーチ型の大きな窓が特徴的な、存在感のある3階建洋風の建物です。どの階も天井が高く、開放感があるゆったりとした空間の中、仕切りのないワンフロアに企画・運営・設計のメンバーが集まり日々仕事をしています。

## Project

### 長春商業オフィスプロジェクト



中国北部、吉林省長春市に位置する地上36階のオフィスと地上3階の商業施設からなる1万5千㎡の複合施設の内装設計のプロジェクトです。オフィス部分は「アート」と「働く」をコンセプトに、アートや木材、金属を取り入れてクリエイティブな雰囲気をつくっています。また、商業施設部分はデザインモールをコンセプトに、ブロンズミラーや木材を使いシンプルな高級感を演出しています。現在は施工図の調整段階でクライアントと共に細部の調整を行っており、2017年秋まず最初にオフィスが竣工予定です。

# Inside UDS

UDSの裏側やちょっとしたニュースなどをお届けします。

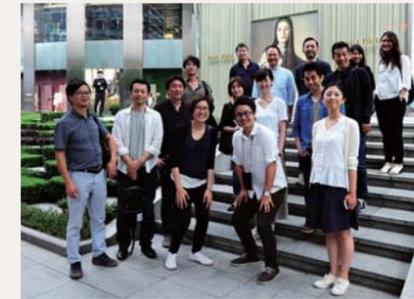
June



### Webサイトをリニューアルしました

UDSは何をやっている会社なのか、どんな人たちが、どんな想いをもって集まっている会社なのかを少しでもお伝えできるような内容を目指し、ホームページをフルリニューアルしました。新ホームページではニュース&ブログページも設け、UDSで働くメンバーの紹介や、UDSが運営を手掛ける各拠点の様子、最新情報などを随時更新していきます。ぜひご覧ください。

June



### UDS中国合宿

6月後半にUDS役員が中国北京と上海の誉都思を訪問しました。実際に北京と上海のオフィスを訪問し、誉都思創業から今日に至るまでの成長の軌跡や個人の生活実感を含めての中国の成長や実際の姿についてなどを聞き、中国の実態と可能性について、誉都思の実績についての理解を深めました。MUJI HOTEL 北京などを含め、現在も日中で密に連携しながら様々なプロジェクトが進行中です。

October



### 沖縄UDS株式会社を設立

沖縄県那覇市に2016年10月3日付で沖縄UDS株式会社を設立しました。UDSでは「世界のまちにUDS経営者をつくる」ことを組織ビジョンとして掲げており、今回はそのビジョンに向けた第一歩となります。ホテル事業で豊富な経験をもつ岡崎勝彦が代表取締役社長に就任。沖縄各地で複数のホテル・リゾート施設の開業を進めています。

October/November



### 受賞ラッシュ

UDSが企画・設計・運営を手がける「オンザマークス川崎」、「BUNKA HOSTEL TOKYO」さらに企画・設計を手掛けた「CASCADE HARAJUKU」が2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。さらに「CASCADE HARAJUKU」はInternational Design Awardsに、「オンザマークス川崎」と韓国「HOTEL CAPPUCINO」はAsia Pacific Interior Design Awards 2016にも輝き、「HOTEL CAPPUCINO」はJCD Design Award 2016も受賞と、嬉しい受賞ラッシュとなりました。

November



### 京都食べる通信第1号発行

ホテルカンラ 京都が発行する、食べ物付きの情報誌、「京都食べる通信」第1号ができあがり、購読者のもとに発送されました。第1号の特集は京都・大原「つくだ農園」、渡辺ご夫婦のにんじん。味の濃いカラフルな人参と、UDS社員でカンラ所属の編集長・副編集長が作り上げたほっこり冊子をセットにして、お届けしました。2号は京丹波町「ミルクファームすぎやま」のチーズを特集予定。購読申し込み受付中です。<http://taberu.me/kyoto/>

November



### LEAGUE 有楽町オープン

東京交通会館に、地方と都市をつなぐコワーキングスペース「LEAGUE有楽町」を開業しました。全国各地でまちづくり視点の企画・設計・運営を行ってきたUDSの実績・ノウハウと、ホテルやレストランなどの「場」を運営している強みを運動させ、地方と都市をつなぐ新たなビジネスを生むコワーキングスペースを展開します。<http://league-yurakucho.jp/>

# Message from UDS Acters

UDSでは運営を手掛ける各拠点のスタッフをAct(行動)する人と言う意味でActerと読んでいます。全国各地からのActerの声をお届けします。



from  
**小石川テラス**  
Tokyo / Restaurant

キッチン  
佐藤 陽葉  
2月から歓迎プラン販売開始します。  
素材の旨みを活かしたスペシャルメニューです!



from  
**ホテル エディット 横濱**  
Kanagawa / Hotel

フロント  
池田 真也  
仕事、遊び、食事、目的は違うけれどそれぞれが自分らしい、ライフスタイルの編集ができるホテルを目指します!



from  
**GRIDS 秋葉原**  
Tokyo / Hostel

フロント  
田村 友愛  
和菓子作りや日本酒の体験イベントなど、様々なイベントを開催予定!



from  
**NODE UEHARA**  
Tokyo / Cafe & Restaurant

ホール アルバイト  
山口 珠侑  
飲食だけでなく、ワークショップやPOP-UP SHOPもたくさん開催しています。



from  
**PUBLIE**  
Kanagawa / Cafe & BBQ Diner

ホール  
武藤 裕樹  
地元の食材をたっぷり使用した  
グランドメニューにリニューアルしました!!



from  
**GRIDS 日本橋イースト**  
Tokyo / Hostel

支配人  
桑川 正  
毎月、様々なイベントを行っているので、Instagram&Facebookを要チェックしてください!



from  
**BUNKA HOSTEL TOKYO**  
Tokyo / Hostel

フロント  
太田 信平  
旅先の夕げに、パンカの肴が丁度いい。  
今日の終わりに、パンカの寝床が丁度いい。



from  
**リラックス食堂 広島**  
Hiroshima / 学生食堂

管理栄養士  
太田 美香  
リラックス食堂オリジナルエプロンできました!



from  
**リラックス食堂 大阪**  
Osaka / 学生食堂

栄養士  
濱川 絢  
手書きの「旬のお便り」を通じて、  
学生の皆様に日本の食文化をお届けしています!



from  
**オン ザマークス 川崎**  
Kanagawa / Hotel & Hostel

店長  
田島 知哉  
JAZZライブ、グループプランニング等イベントも様々!  
色んな人と繋がれるので、是非遊びに来てさい~!



from  
**コサイエ**  
Kanagawa / After School

コーディネーター  
金子 咲貴  
今年で1周年! 更にパワーアップしたコサイエに  
お子様といっしょに遊びに来てください!



from  
**リラックス食堂 滋賀**  
Shiga / 学生食堂

管理栄養士  
山下 麗華  
スポーツに全力投球の大学生(アメフト・陸上・野球など)  
の学生生活を食事でサポートしています。



from  
**リラックス食堂 仙台**  
Miyagi / 学生食堂

管理栄養士  
左古 麻乃  
宮城の地元農家さんの野菜を使った、  
ヒトマかけたオリジナルメニューを提供しています!



from  
**薩摩川内市スマートハウス**  
Kagoshima / Smart House

コーディネーター  
塚原 諒  
地元高校生とエネルギーのまちの  
未来をつくる新プロジェクトがはじまりました!  
詳しくはUDSブログをご覧ください!



from  
**LEAGUE 銀座**  
Tokyo / Coworking Office

マネージャー、コーディネーター  
児島 絵里子  
会員制ワークスペースのほか、カフェ&バーや  
会議室もお気軽にお使いいただけます!



from  
**ホテルカンラ 京都**  
Kyoto / Hotel

鉄板料理 花六 店長  
近藤 直希  
10月、ホテルカンラ 京都 本館地下1階にオープンしました。  
国産和牛を京都の小規模生産蔵の日本酒等とお楽しみ下さい。



from  
**ホテル アンテルーム 京都**  
Kyoto / Hotel

キッチン  
矢口 由紀恵  
主食が選べる日替わりメニューの朝食、  
毎日心を込めてご用意しています。一食入魂!



from  
**LEAGUE 有楽町**  
Tokyo / Coworking Office

コーディネーター  
宜俣 ソックメター  
有楽町駅直結、2面採光のワークスペースを  
リニューアル!月額会員募集中!



from  
**練馬区立こどもの森**  
(JV PLAY TANK として受託)  
Tokyo / 公園

パークマネージャー  
添田 瑠璃  
約30人の"こども農園マスター"と  
練馬区の伝統野菜を育てています♪